

# 【漁況】

## [マアジ]

### 1. 漁獲量の動向（農林統計）

全国のマアジの漁獲量は、昭和40年の53万トンにピークに減少傾向となり、昭和55年には5万4千トンとなりました。その後増加傾向に転じ、平成8年には33万トンに増加し、平成10年までは30トン台で推移しました。しかし、平成11年には大きく減少し21万1千トンとなり、平成14年は19万2千トンでした。

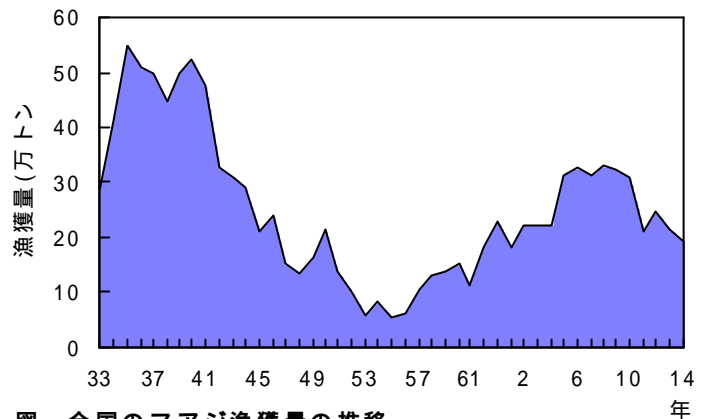


図 全国のマアジ漁獲量の推移

### 2. 平成15年4～6月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

北薩海域では、野間池沖(4月)、長島沖～串木野沖(4～6月)に、薩南海域では、佐多沖(5～6月)に漁場が形成されました。

4港計では、豆アジ(平成14年生まれ)主体に1,035トンの水揚げで、前年の41%及び平年の63%でした。

### 3. 平成15年7～9月期の見とおし

漁獲の主体は、アジ仔・豆アジ(0歳魚・平成15年生まれ)で、来遊量は前年を上回り、平年並みでしょう。

(根拠)

4月のモジャコ調査やモジャコ漁業のマアジの混獲状況や4月の西水研の卵稚仔調査結果から、主対象となる平成15年生まれ群の発生は、14年生まれ群より高水準と考えられます。

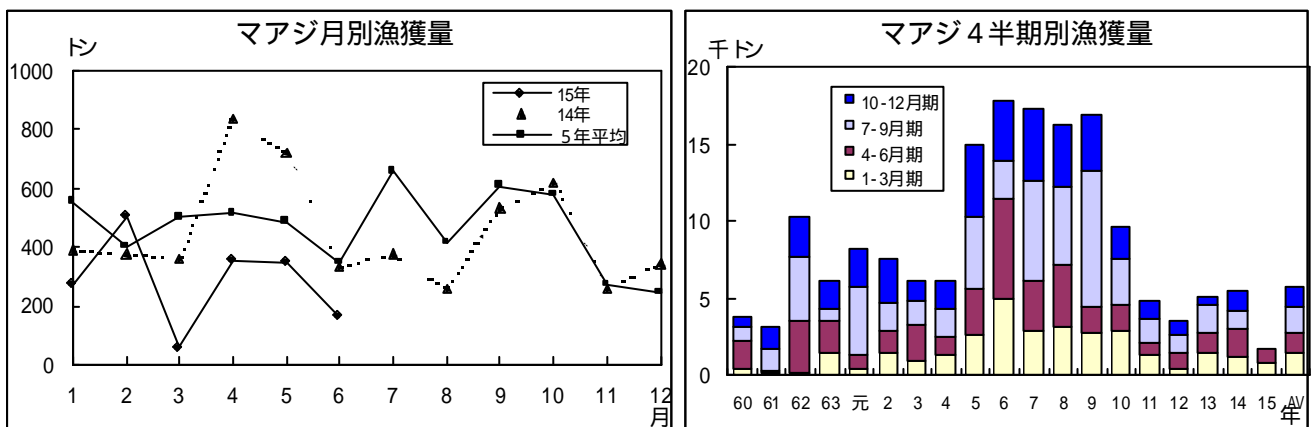


図 マアジ漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年（平成10～14年）の平均値，平成15年6月末までの水揚量を使用。

## [ サバ類 ]

### 1. 漁獲量の動向（農林統計）

サバ類の漁獲量は、昭和53年の160万トンにピークにマサバ資源水準の低下により年々減少し、昭和57年には72万トンとなりました。その後は、ゴマサバの増加により大幅な漁獲量の減少は見られませんでした。昭和63年以降はゴマサバの資源水準も低下したため、サバ類の漁獲量は大きく減少し、平成3年には26万トンとなりました。平成9年には84万9千トンと増加しましたが、その後再び減少し、平成14年には27万9千トンでした。

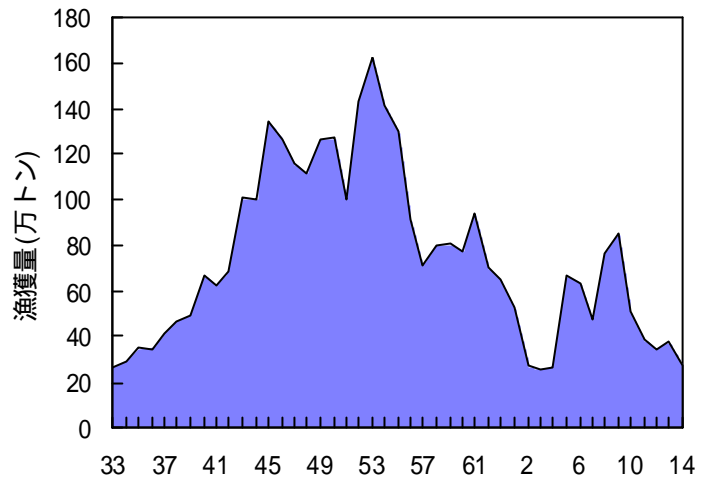


図 全国のサバ類漁獲量の推移

### 2. 平成15年4～6月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

主に薩南海域で漁獲があり、ゴマサバ大（3歳魚以上）が馬毛島沖（4～5月）、種子島東（4月）、種子島北沖（5月）で、ゴマサバ小（1歳魚）は佐多沖（5～6月）に漁場が形成されました。特に5月下旬以降はゴマサバ小（1歳魚）が好調に推移しました。

4港計では、4～6月はゴマサバ小（1歳魚）、ゴマサバ大（3歳魚以上）主体に1,933トンの水揚げで、前年の314%及び平年の87%でした。

### 3. 平成15年7～9月期の見とおし

漁獲の主体はゴマサバ小・中（1歳魚・平成14年生まれ）で、来遊量は前年・平年を上回るでしょう。

（根拠）

前期の漁況の経過から主対象となるゴマサバ1歳魚の来遊量は高水準であると考えられます。

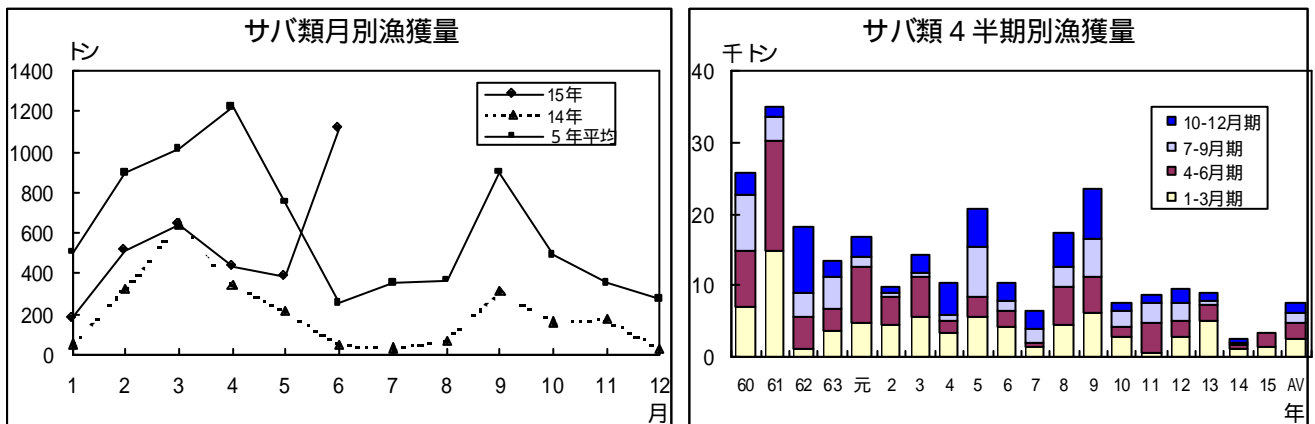


図 サバ類漁獲量変化（4港計）

平年値は過去5年（平成10～14年）の平均値、平成15年6月末までの水揚量を使用。

# [マイワシ]

## 1. 漁獲量の動向（農林統計）

全国のマイワシの漁獲量は，昭和30年代から40年代にかけての不漁期の後，昭和48年頃から増加の傾向が見られ，昭和63年には449万トンまで増加しました。しかし，平成元年から三陸沖を中心に漁獲量が減少し始め，その後もマイワシの若齢魚の減少等により，全国的に漁獲量は減少を続け，平成7年には66万トン，平成10年は16万7千トンとなりました。平成11年は35万1千トンとやや増加したものの，その後減少し平成14年は5万2千トンでした。

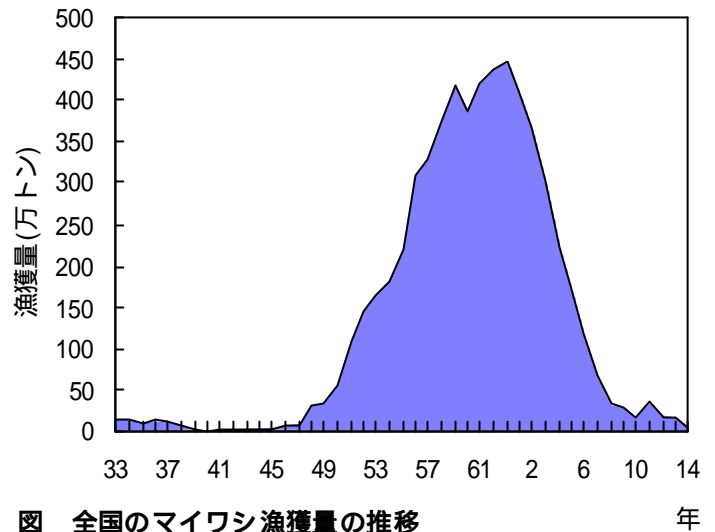


図 全国のマイワシ漁獲量の推移

## 2. 平成15年4～6月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

期間中まとまった漁獲はありませんでした。

## 3. 平成15年7～9月期の見とおし

来遊量は前年並みでまとまった漁獲は期待できないでしょう。

（根 拠）

マイワシの資源状態は低水準にあり，前期の漁獲状況や平成15年3月の卵稚仔調査結果の状況から資源回復の兆候はみられませんでした。

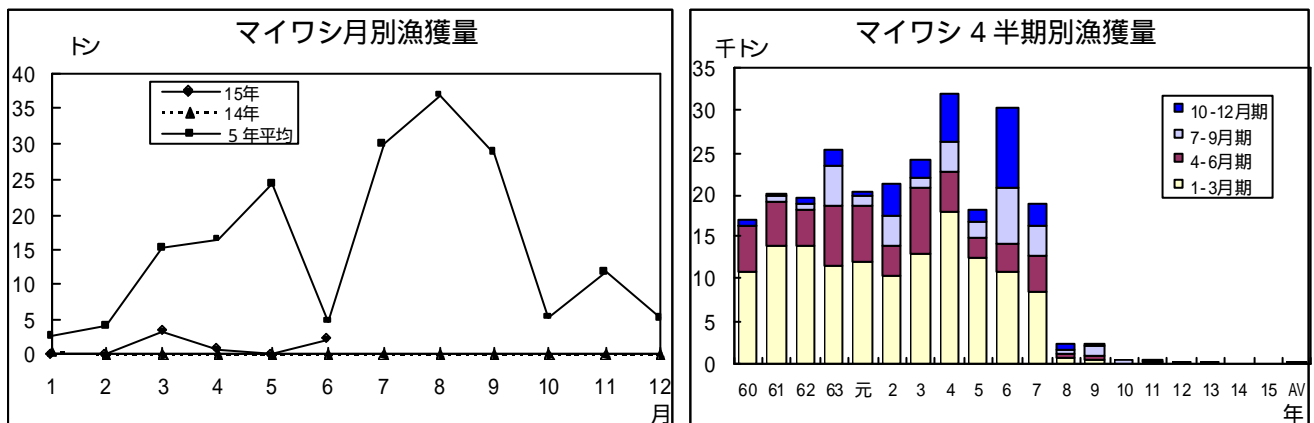


図 マイワシ漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年（平成10～14年）の平均値，平成15年6月末までの水揚量を使用。

# [ウルメイワシ]

## 1. 漁獲量の動向（農林統計）

全国のウルメイワシの漁獲量は、昭和30年代後半から40年代前半にかけて3万トン前後で推移していましたが、昭和46年から54年まで5万トン前後で推移しました。昭和55年以降、漁獲量は減少し昭和60年には3万トンとなりましたが、その後増減を繰り返しながら、増加傾向を示し、平成6年に6万8千トンとなりました。その後減少傾向に転じ、平成9年は5万5千トン、平成14年は2万7千トンでした。

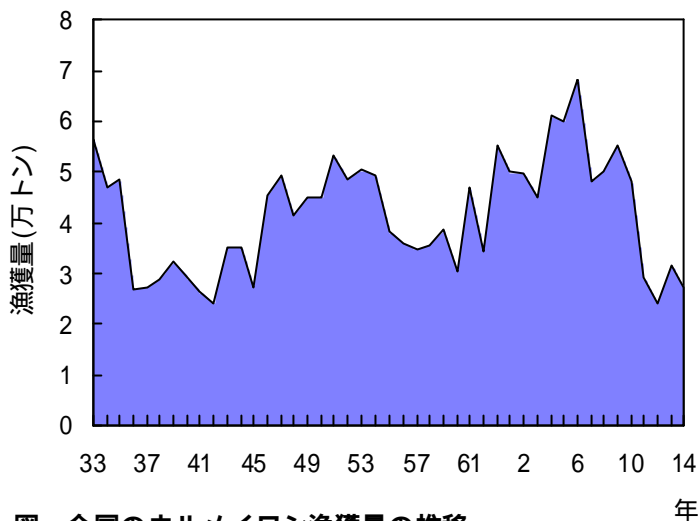


図 全国のウルメイワシ漁獲量の推移

## 2. 平成15年4～6月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

主に北薩海域の長島沖～阿久根沖(4～6月)で小羽～中羽(0歳魚)の漁獲がありました。まき網4港計及び棒受網の合計では、242トンの水揚げで、前年の40%及び平年の56%でした。

## 3. 平成15年7～9月期の見とおし

漁獲の主体は小羽～中羽ウルメ(0歳魚・平成15年生まれ)で、来遊量は前年・平年を下回るでしょう。

(根拠)

前期の漁況経過から主対象となる0才魚は前年・平年を下回るものと考えられます。

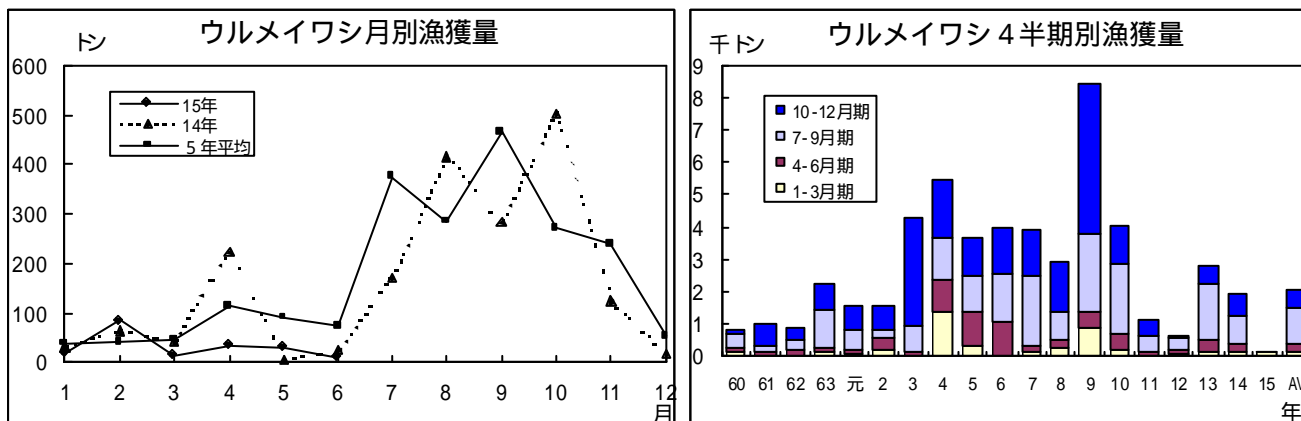


図 ウルメイワシ漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年（平成10～14年）の平均値，平成15年6月末までの水揚げ量を使用。

# [カタクチイワシ]

## 1. 漁獲量の動向（農林統計）

カタクチイワシの漁獲量は，昭和48年まで30万トン台で変動していましたが，昭和49年以降減少傾向となり昭和54年には13万トンとなりました。その後，徐々に漁獲量は増加し昭和59年には22万トンとなりましたが，昭和62年には再び14万トンまで減少しました。昭和63年以降は大きく増減を繰り返し平成9年は23万3千トン，平成11年は過去最高の48万トンとなりました。平成13年は，30万トンと一時的に減少したが，平成14年は再び増加し44万トンでした。

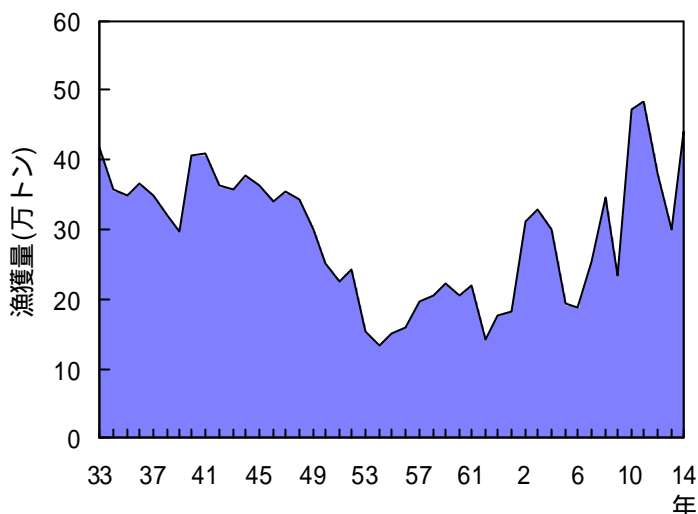


図 全国のカタクチイワシ漁獲量の推移

## 2. 平成15年4～6月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

主に北薩海域の長島沖～阿久根沖(4～6月)で大羽(2歳魚)の漁獲がありました。

まき網4港計及び棒受網の合計では，774トンの水揚げで，前年の160%及び平年の161%でした。

## 3. 平成15年7～9月期の見とおし

漁獲の主体は大羽カタクチ(2歳魚・平成13年生まれ)で，来遊量は前年・平年を上回るでしょう。

(根 拠)

前期の漁況の経過から主対象となる2歳魚は前年・平年を上回ると考えられます。

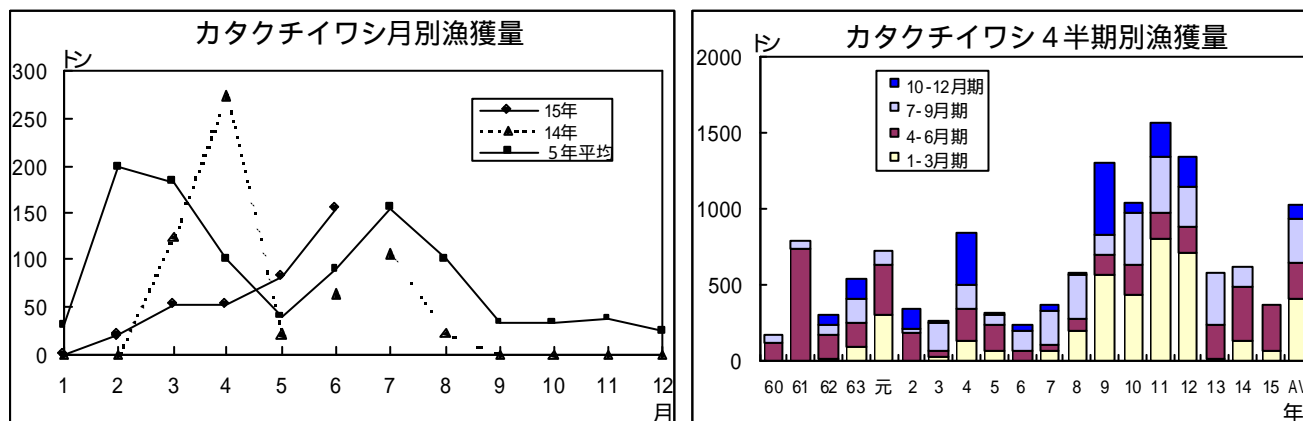


図 カタクチイワシ漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年（平成10～14年）の平均値，平成15年6月末までの水揚量を使用。

## [ その他の魚種 ]

### ムロアジ類 ( 4 港計 )

#### 1. 経年変化及び平成15年4～6月期の漁況の経過

ムロアジ類の漁獲量は、平成2年の21,700トンピークに減少傾向を示し、平成12年は、昭和58年以降最低の1,819トンとなりました。平成13年以降は増加し、平成13年は3,224トン、平成14年は4,418トンとなりました。

主に薩南海域で漁獲があり、4～6月期全体では221トンの水揚げで前年の633%及び平年の174%でした。

#### 2. 平成15年7～9月期の見とおし

来遊量は前年・平年を上回るでしょう。

### オアカムロ ( 4 港計 )

#### 1. 経年変化及び平成15年4～6月期の漁況の経過

オアカムロの漁獲量は、平成元年の5,300トンピークに減少し、平成6年には1,823トンとなりましたが、その後は増加傾向となり、平成10年は3,413トンでした。その後減少傾向となり、平成12年は2,483トン、平成13年は2,337トン、平成14年は1,885トンとなりました。

主に薩南海域で漁獲があり、4～6月期全体では136トンの水揚げで前年の43%及び平年の36%でした。

#### 2. 平成15年7～9月期の見とおし

来遊量は前年・平年を下回るでしょう。

### マルアジ ( アオアジ ) ( 4 港計 )

#### 1. 経年変化及び平成15年4～6月期の漁況の経過

マルアジの漁獲量は、平成2年以降低調に推移しましたが、平成7年には1,430トンに増加しましたが、再び減少し平成11年は639トンでした。平成12年以降は増加傾向を示し、平成12年は1,867トン、平成13年は1,603トン、平成14年は2,712トンでした。

主に北薩海域で漁獲があり、4～6月期全体では606トンの水揚げで、前年の119%及び平年の242%でした。

#### 2. 平成15年7～9月期の見とおし

来遊量は前年・平年を上回るでしょう。

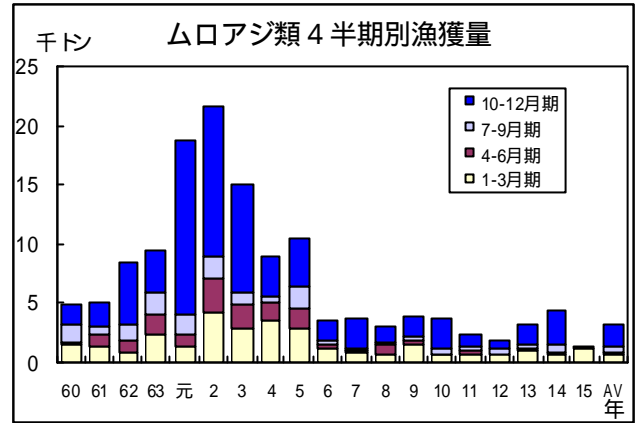
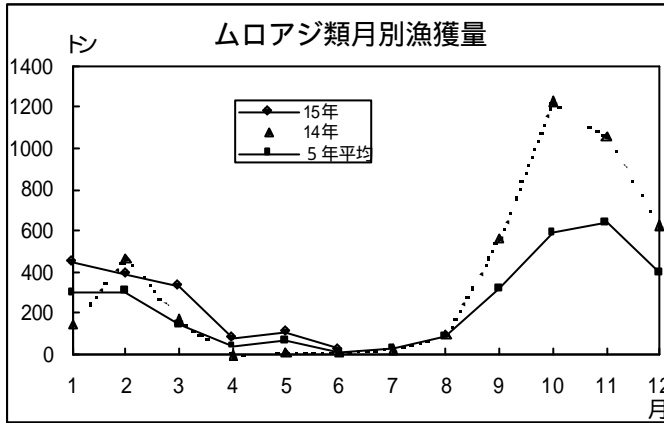


図 ムロアジ類漁獲量変化(4港計)

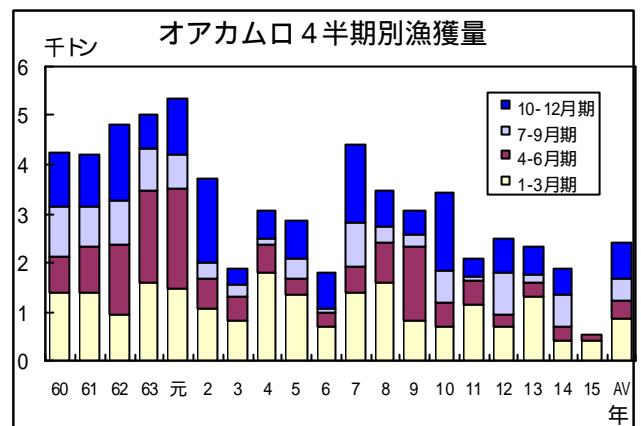
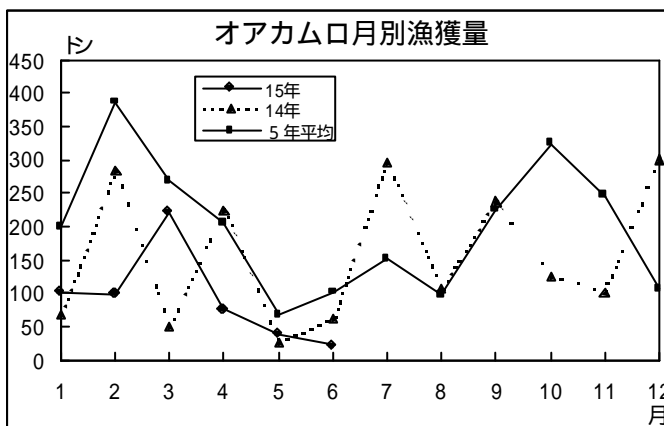


図 オアカム口漁獲量変化(4港計)

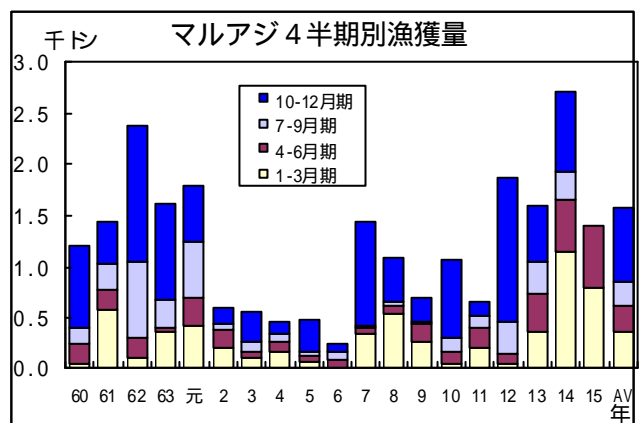
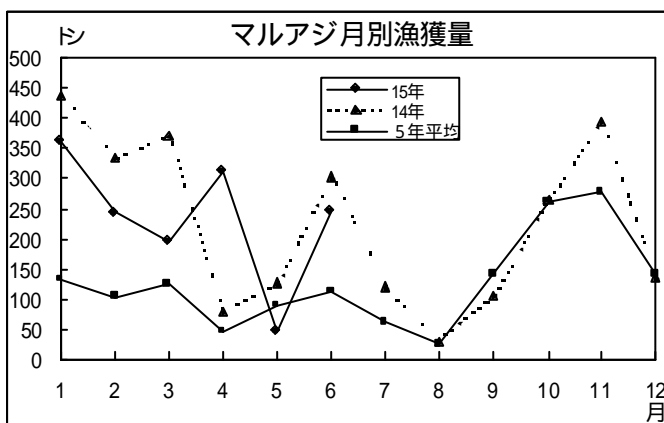


図 マルアジ(アオアジ)漁獲量変化(4港計)

平年値は過去5年(平成10~14年)の平均値,平成15年6月末までの水揚量を使用。